

# 2017年 韓国国際ジュニア 本大会・遠征レポート

遠征期間：2017年 8月6日(日)～8月16日(水)

第1戦：2017 KETF KOREA INTERNATIONAL JUNIOR CHAMPIONSHIPS SERIES 1 / Yeoncheon

第2戦：2017 KETF KOREA INTERNATIONAL JUNIOR CHAMPIONSHIPS SERIES 2 / Yanggu

8月6日(日)

出発

金浦空港・仁川空港

日本を飛び立ち、いざ韓国へ！！

金浦空港と仁川空港に無事到着後、送迎バスに乗り、第1戦会場の「ヨンチョン」に移動しました。移動中、選手達はどんどん打ち解けあって、楽しく元気に過ごしていました。



宿泊ホテル

第1戦会場の宿泊ホテルに到着。ホテルにチェックインした後、試合会場で調整練習を行いました。夕食はホテル近くの食堂で、初めての本場の韓国料理(プルコギ定食)を食べました。また、大会期間中の朝食は、ライスバーガーやホットサンド、昼食は試合の合間にとんかつ弁当やカラアゲ丼を食べました。



8月7日(月)～

8月11日(金)

第1戦スタート

第1戦、ヨンチョン大会が行われ、3回戦までは3会場に分かれて試合が行われました。

日本チームは毎日早朝練習を行い、試合に臨みました。12才以下では男女とも1回戦の壁が高く、勝ち上がることが出来ませんでした。10才以下の男女は、ベスト8が最高という成績でした。



レセプション  
パーティ

8/8(火)レセプションパーティーに、大会関係者・各国選手とともに招待され盛大に行われました。国別に分かれて着席。市長や連盟会長等の挨拶から国別のチーム紹介があり、乾杯、食事という具合に進みました。食事はビュッフェスタイルで、マナー良く食事をとりながら楽しい時間を過ごしました。



**交流マッチ練習**

トーナメントで敗退した選手たちは、練習試合を沢山行いました。初対面の外国人選手とも試合をすることが出来て、普段できない経験をたくさん積めたことは非常に良かったと思いました。期間中は、番外トーナメントも行いました。選手たちは本大会さながらの集中力で頑張りました。



**社会観光  
(ヨンチョン)**

8月10日(木)の午後は、連盟主催の社会観光に行きました。北朝鮮との国境線沿いにある「台風展望台」に行きました。到着するまでの間も、韓国軍の軍人にパスポートをチェックされ、物々しい雰囲気を感じました。北朝鮮側は撮影禁止の為、撮影許可されたところで記念撮影しました。この後、『全谷先史博物館』に行き、韓国の石器時代等の3D映像を鑑賞しました。



**第2戦へ移動  
宿泊ホテル**

8月11日(金)第1戦の表彰式後、第2戦会場のある「ヤング」へバスで移動しました。第2戦会場の宿泊ホテルに到着。ホテルにチェックインした後、ホテル内の食堂で夕食を摂りました。





**8月12日(土)～  
8月16日(水)  
第2戦スタート**

第2戦の会場「ヤング」では、3回戦まで試合会場が2会場に分かれて行われました。各会場にて早朝練習を行い試合に臨みました。2大会目ということで、みんな奮起して、多くの選手が初戦を勝ちあげました。ここでも日本選手はベスト8が最高という海外選手のレベルの高さを痛感しました。



**サービスコンテスト**

8月12日(土)朝9時から全選手によるサービスコンテストが行われました。試合の時とは一味違った真剣さでサーブを打っていました。見事に的を当てた選手達は、色々な商品を受け取り喜んでいました。



**社会観光  
(ヤング)**

8月15日(火)の午後は、連盟主催の社会観光が行われ、北朝鮮を眺めることのできる『乙支(ウルチ)展望台』に行きました。この日、残念ながら天候が悪かった為、展望室で色々な武器を見たり説明を聞いたりしました。さらにバスで移動し、北朝鮮が侵略の為に掘った

トンネルの『第4トンネル』に行きました。第4トンネルに突き当たるまで徒歩で約300m。  
 今回は点検中の為、トンネル内のトロッキに乗ることが出来ませんでした。しかし軍事国境線の  
 近くということもあり、この薄暗く長いトンネルを歩くことは緊張感の高い体験だったと思います。



### 総評

今回参加された選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。  
 2大会を連戦する海外ツアーをジュニアで経験する事は、なかなか  
 出来る事ではありません。この遠征を通して経験したことは、これからの  
 人生にとっての糧となり、また生涯の思い出となると確信しています。  
 遠征の中日に起こりました体調不良に関しまして、保護者の皆様には  
 大変なご心配をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。  
 最後になり恐縮ですが、このような貴重な体験をお与えくださった  
 保護者の皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に心より御礼申し上げます

2017韓国国際ジュニア大会・引率ディレクター 山本誠二

